事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表

評価の実施時期　2025年2月　　公表の実施時期　2025年3月

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	定員に対して十分なスペースが確保されている。 子どもたちがのびのびと活動できる。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	十分な人数である。とても手厚い。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	4	0	トイレの入り口に段差があるが、支援が必要な利用者がいないため現状問題ない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	0	毎日朝礼と終礼の中で支援内容の振り返り、改善を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	評価表の結果やご意見を参考にして検討し、改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	0	ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5	3	現在は第三者の評価はしていない。今後活用に向けて検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	全職員参加の内部研修を月に1度開催している。
	9	支援の質の向上を図るため、研修や学習の機会が確保されているか	7	1	0	外部研修、内部研修、関係機関の見学などを行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	保護者との面談を必ず行い、多くの職員の意見を取り入れながら作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3	0	アセスメントシートやABAシートに沿って分析し、適切な支援を考えている。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	スタッフ全員の意見を参考にして活動内容を決めている。
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2	0	利用者の行動が固定化されないように課題に取り組む順番や内容を変えている。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2	0	学校休業日は普段取り組めない活動などをおこなっている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	個別支援や集団支援の内容を利用者ごとに合わせて提供している。
	16	放課後等デイサービス計画に基づき、支援を実施しているか	8	0	0	個別支援計画に則り活動内容を決め、支援の提供をしている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17	放課後等デイサービス計画に記載した目標が達成できているか	5	3	0	達成できたりできなかったり利用者によってあるが、なるべく達成できるようにスモールステップの目標に改善している。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	毎日必ず行い前日の振り返りと情報共有、当日の予定確認をおこなっている。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	毎日必ず行い当日の振り返りと情報共有、次の日の予定確認をおこなっている。
	20	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	利用者一人一人の記録を細かくおこなっている。
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	半年に一度モニタリングを行い、担当者を含めたチームで見直ししている。
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7	1	0	ガイドラインに合わせた活動を複数おこなっている。
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	管理者や児発管だけでなく、利用者と関わりの深い職員が担当者として参加している。
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	3	0	特別支援学校とは子どもの引き渡し時に引継ぎなどが行われるが、普通級の学校は学童を経由するので情報共有が難しい。
	25	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当者なし。
	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	3	発達支援センターからの紹介などを通して情報共有がされることがある。
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5	1	求められれば対応する。放課後等デイサービスを卒業して作業所へ行った利用者の様子を見学に行き、情報交換したこともある。
	28	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	1	機会があれば児童発達支援センターの外部研修に参加するなどおこなっている。
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	5	障害のない子供と接する機会はほとんどない。
	30	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	1	全国児童発達協議会・江戸川区放課後等デイサービス連絡会に参加している。
	31	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	送迎時や日々の連絡帳の中、半年に1回の面談で細かく子供の状況を共有している。
	32	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	2	5	1	話の中で相談などに乗っているが、ペアレントトレーニングとしては実施できていない。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	33	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	契約時に丁寧におこなっている。
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	連絡帳や面談だけでなく、急を要する場合は電話などでもいろいろな形で相談に乗っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	0	定期的にではないが保護者会を開催している。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	職員が苦情やご意見を受けた場合は速やかに管理者へ報告し、対応している。必要であれば話し合いの場を設けている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	3	0	週に1度のペースでブログを更新し、活動の様子を公開している。
	38	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	重要書類は鍵付きのロッカーに保管している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	絵カードや文字盤などを活用し、利用者の意思を汲み取るようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3	0	定期的に地域のボランティアの方をパネルシアターや工作などに招いている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	0	各マニュアルは全職員に周知している。保護者には契約時に説明をおこなっている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	月に1度のペースで避難訓練をおこなっている。
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	月に1度虐待防止チェックリストで確認している。虐待について内部研修をしている。
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	身体拘束適正化対策検討委員会の中でマニュアルを策定している。指針を運営規定に記載して保護者に通知している。
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	0	アレルギーがある利用者に対応したおやつを提供している。
	46	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	すぐに書けるように改善してから報告の量が格段に増え、全体会議で共有している。